

# 第2回 県立高等学校改革懇談会 『湯本・遠野』

日時：令和元年12月2日（月） 13:30～15:00

場所：遠野高等学校 大会議室

## 福島県教育委員会

# 本日の進め方

1	第1回県立高等学校改革懇談会における内容等について
2	特色化及び校舎利用方法について
3	今後のスケジュールについて

1

前回の改革懇談会における内容及び  
主な御意見について

# 統合校の方向性

**湯 本 高 校**

定員 240名  
○ 普通科(6学級)

**遠 野 高 校**

定員 80名  
○ 普通科(2学級)

令和4年(2022年)4月開校予定  
**湯本・遠野統合校 (仮称)**

**定員：240名      普通科6学級**  
**場所：湯本高校校舎**

# 統合校（案）のイメージ図

## キャリア指導推進校

**大学進学から就職**まで、生徒の幅広い進路希望に応えるとともに地域を学習のフィールドとした学びをとおして、地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人材を育てる学校

### ● 学びの継承と充実

湯本高校の進学指導や遠野高校の個に応じた丁寧な学習指導など、両校の伝統を継承するとともに、地域と連携した地域課題への当事者意識を高める教育の実践

### ● ICT機器の活用とアクティブラーニング

主体的・対話的で深い学びの実現を図り、課題解決に積極的に取り組む人材の育成

### ● 大学や地域企業と連携したキャリア教育の推進

医療や福祉、スポーツなど、地域の様々な分野と連携したキャリア教育推進

# 検討する統合校の特色化

個に応じた丁寧な  
学習指導や進学指導

I C T 機器利用の  
環境整備

主体的・対話的で  
深い学びの実現

地域をフィールドとした  
探究的な学びの導入

普通科の特色化として  
コース制の導入

# 主な御意見・御要望

- 中学生に影響が出ないように、**統合後のビジョン**を具体的に早く示してほしい。
- 進学指導や丁寧な学習指導など**両校の良さを引き継いで**ほしい。
- **福祉や医療の分野の人材育成**や**郷土の文化を学ぶ**ことも教育内容に加えてほしい。
- もっと高校生を社会に出して、**社会に適応する力を身につけ**る必要がある。
- 今回の高校再編が、**より良いキャリア教育**の発展に繋がるとよい。
- **中学生が入学したい**と思うような魅力的な高校にしてほしい。
- 統合後、環境が大きく変わること**で高校生活を継続できるか**心配。

**2**

**特色化及び校舎利用方法について**



# 特色化・魅力化についての検討①

## ● コース制の導入（2年次から）（案）

大学進学から就職まで幅広い進路希望に対応

### ・『アカデミックコース』

国公立大学・難関私立大学など

4年制**大学への進学**を目指す。

### ・『スペシャリストコース』

**看護・医療系の専門学校**への進学や

**公務員、一般企業就職**を目指す。



# 特色化・魅力化②

# 個に応じた学習指導

## ◎ 分かる授業の実践

- チーム・ティーチング  
複数の教員  
による指導



- 少人数指導  
生徒の理解に寄り添った指導
- 「主体的、対話的で深い学び」  
に向けたアクティブ・ラーニングの  
推進

## ◎ ICT機器を活用した授業



グループ学習のような協働で作業をする場合に活用。



ノートPCモードで使いながら、タブレットPC  
のようにタッチペンを使用する。

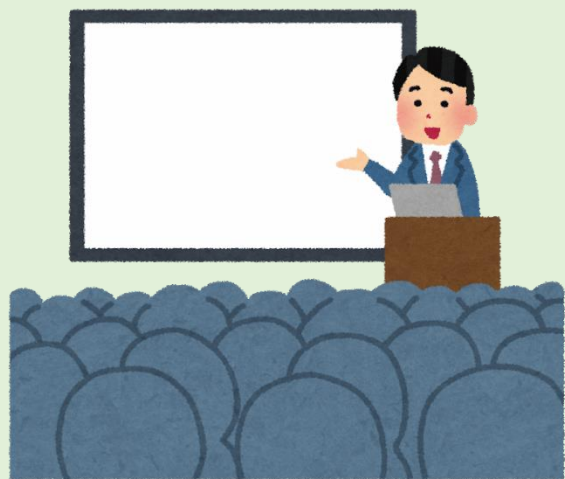


PCは使い終わったら毎回専用ラックで保管  
し、バッテリーを充電。

## 特色化・魅力化③ キャリア教育の視点を持った進路指導

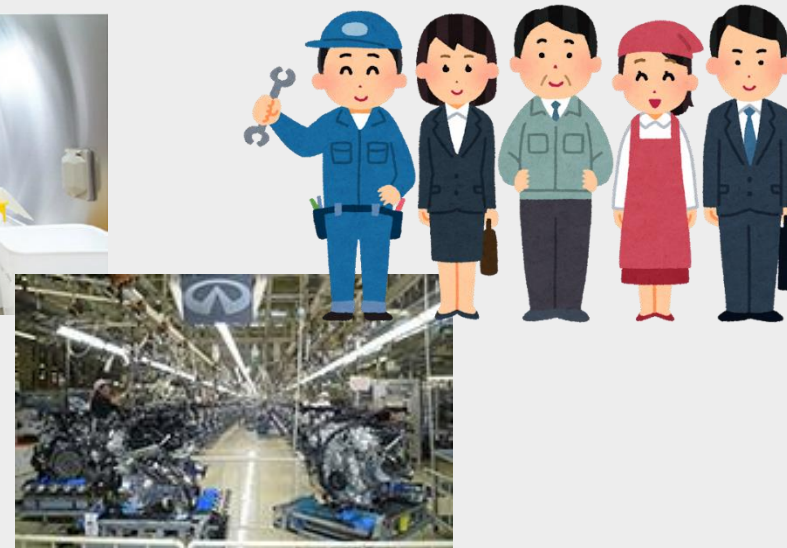
### ◎ 外部講師活用

大学等上級学校と連携した  
出前講座や講演会の実施



生徒の進路意識向上及び  
進学への動機付け

### ◎ 地元研究機関と連携した体験学習 先進技術等の見学や インターンシップの実践



望ましい勤労観・職業観の育成



# 特色化・魅力化④

## 地域を学びのフィールドとした探究学習の実践

- 湯本や遠野の地域に対する理解を深め、伝統文化の継承に関する学びの実践

いわき湯本温泉  
さはこの湯



遠野和紙を使ったランプ



これらの学びを  
通して

- 地域活性化など課題に対して当事者意識を持って取り組み、解決に向けて主体的に他と協働して取り組む力の育成



地域を知ること、地域を思い、地域に戻り、根付く

# 統合高校の校舎利用方法に対する検討について

- 統合後、遠野高校の生徒が、環境が大きく変わることによって、新しい高校での生活に不安を感じているとの声があること。  
(保護者・改革懇談会など)
- 令和4年4月の統合校開校を考えると、今年度実施される入試の受験生が統合後の在校生となることから、特に統合後の校舎利用方法について中学校へ早期の情報提供が必要であること。

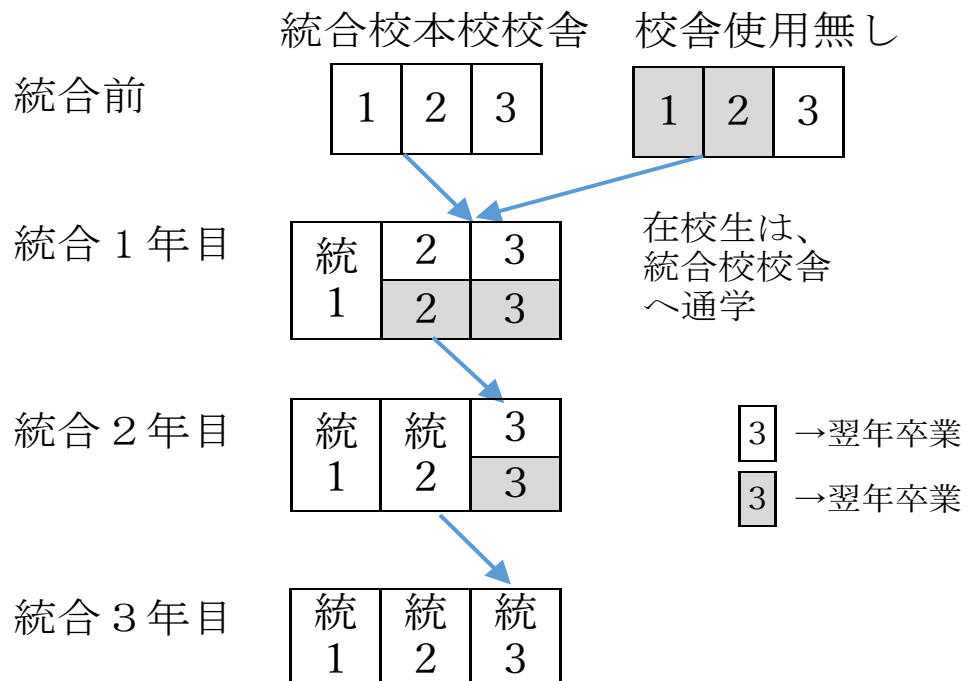
## 対応方法

### 「校舎方式」

- 統合により1つの高校ではあるが、それぞれの高校を校舎として使用し、入学した高校の校舎で卒業まで学ぶ方式。

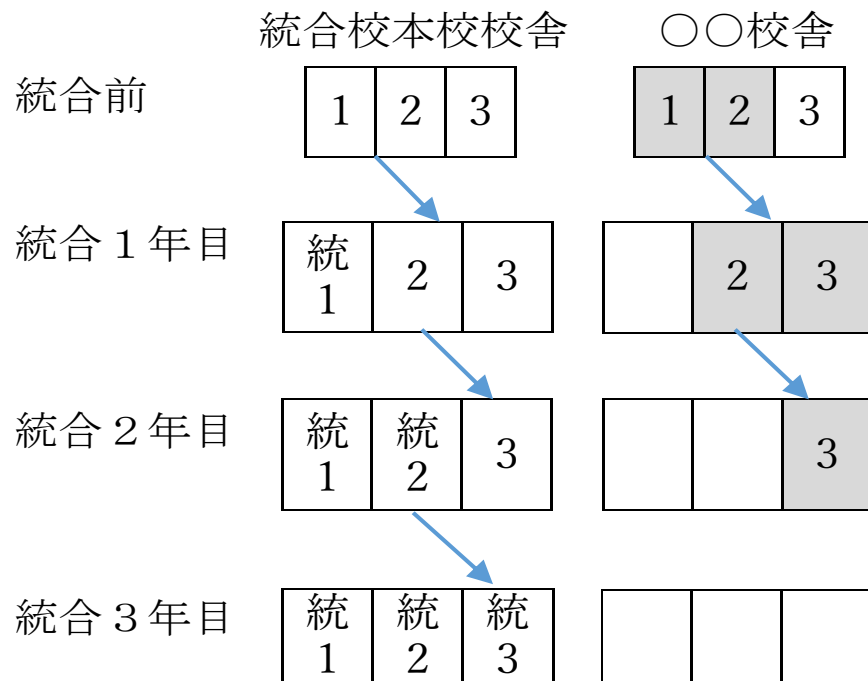
# 現在の想定と「校舎方式」のイメージ

## 現在の想定



統合2年目まで、校舎を使用しない高校の生徒（灰色網掛け）が、統合校の校舎に通学する。

## 校舎方式



統合2年目まで、2つの校舎を使用。それぞれの高校の生徒は、これまでと同じ校舎で学ぶことができる。

**3**

**今後のスケジュールについて**

## 教育内容検討委員会及びワーキンググループにおける開校準備スケジュール（案）

令和元年度 (2019)					令和2年度(2020)										令和3年度(2021)										令和4年度 (2022)				
11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
教育方針・教育目標 →					教育課程・校名の検討 →																				統合校 開校式 入学式				
魅力化・特色化の検討 →																													
					統合校部活動の検討 →					統合校案内の検討 →					統合校体験入学実施														
										統合校案内の作成・配布 →																統合校校務分掌の検討 →			
										統合校学校経営・運営ビジョン検討 →					合同職員会議（入学者選抜・統合校内規等検討） →														
										合同職員会 →					生徒交流会の実施 →														
										修学旅行先検討 →																			
					中学2年生対象説明会 →					中学校への説明会 →					開校式準備 備品整備等 →														
					令和2年度入学生：統合時3年生										令和3年度入学生：統合時2年生														